

校長室だより

共学共高

第
46
号

令和5年5月25日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

体育祭～最初の全校行事 part2

昼食をはさんで午後の部の開始である。

最初は「部活動対抗リレー」だ。文化部と運動部とに分かれて2レース行う。なぜか剣道部が文化部のレースに参加している。防具が重くて運動部の中での戦いは難しいとの判断があるのだろうか。各部の特徴を表した衣装やバトンを用いている。例えば、箏曲部のバトンは琴そのものである。抱えて走るのは大変だ。放送部はマイクがバトンだ。軽快に走り抜けていく。自然科学部は人体模型の一部がバトンだ。わかりやすいが、なかなか大変そうだ。軽音楽部はギターを持って走っているではないか。また、前日に浴衣に着替えて走る練習をしていた茶道部も予定通り浴衣姿で参加している。同好会から部へ昇格したばかりの漫画研究部は、アニメのコスプレであろうか。何かストーリーがありそうだ。演劇部も相変わらず素敵な衣装だ。演劇部のファンであろうか、片手タッチを求めるギャラリーたちもいる。どの部が優勝したのか、見逃してしまった。

続いて運動部である。今年も陸上競技部とハンドボール部の激戦になるのかと思っていたが、陸上競技部の圧勝であった。後で顧問のS先生に聞いたところ、第1走者から第4走者まで都大会入賞者がそろっていた、という。春に全国制覇したハンドボール部もかなり速いメンバーがそろっているが、さすがにかなわなかった。私が顧問を務めるバドミントン部もよく健闘して第4位。10名全員が3年生だ。私の前を走るたびに「〇〇——」「△△——」と部員のファーストネームを叫ぶ私の姿を見て、隣の井原理事長先生が笑っていらした。



文化部リレー



運動部リレー

その後、「バトン部演技」「ダンス部演技」と続く。いずれも3年生による演技だ。バトン部は弥生祭や新入生歓迎で見せてくれたのと同様に、華麗な演技を披露してくれる。応援の声もよく聞こえる。全員が空中に放たれたバトンを見事にキャッチする場面が多かったように感じる。ダンス部は例年、硬派な感じの演技が続いていた記憶があるが、衣装もピンク色とやや柔らかい感じで登場する。ダンス部の後輩たちの盛大なる声援を受けながら、見せ場を意識した素敵な踊りを見せてくれた。どちらの部もこの体育祭を部活動の締めくくりとする3年生たちがいる。



バトン部



ダンス部

体育祭も終盤に差し掛かってくる。「クラス対抗リレー」が、1年⇒3年⇒2年の順番に行われる。3つの系によってクラスの人数が異なるので、最少人数のクラスに合わせて選手が決められる。どんな戦略で走る順番を決めるのであろうか。どのクラスの選手も真剣そのものだ。周囲の応援も最高潮を迎える。1年生の第1位は3組、2年生の第1位は5組、3年生の第1位は5組であった。どのクラスもどの選手も持てる力を出し切った様子である。



クラス対抗リレー

そして、最終種目は「3年障害物リレー」である。銀色のシートの上に6名くらいの生徒が立ち一斉ジャンプをする、それに合わせて2名くらいの生徒がシートを引っ張りながら、前進する種目から始まる。その後、さまざま種目をリレーしながら速さを競うのである。竹

馬もあれば、玉入れもある、総合力の勝負である。最後は、クラスの担任の先生の似顔絵が書かれた段ボール箱を積み上げてゴールとなる。個人的には、3組のS先生の似顔絵が最高だと思う。(笑)途中で竹馬に不具合があり、不利益を被ったクラスが生じたことから再レースとなるハプニングがあったが、無事に終了した。9組が最も速かったようだ。



閉会式では、体育委員長Kさんから、成績発表がなされる。個人種目100mと70mハードルの第3位まで、そして学年ごとに総合第3位までが発表された。至る所で歓声が上がった。私から表彰状を渡し、その後、副委員長のYさんが代表して参加賞を受け取った。その後、生徒会長Kさんによる閉会宣言で締めくくられた。総合順位(入賞)は、以下のとおりである。

3年 優勝3年5組 準優勝3年6組 第3位3年9組
2年 優勝2年3組 準優勝2年5組 第3位2年9組
1年 優勝1年4組 準優勝1年3組 第3位1年8組

その後、関東大会へ出場するハンドボール部と陸上競技部の壮行会が行われ、解散となった。片付けも手際よく行われ、令和5年度最初の全校行事となる体育祭が終了した。

私は学校における最重要なものは「授業」だと考えている。確かな教養や考える力などを身に付け、生徒一人一人の将来につなげていくことが学校の大切な役割だからだ。それと共に、「学校行事をとおして、集団や個々の生徒が育つ」という面も大切だと考える。たくましい3年生の活躍を目の当たりにして、2年生や1年生も「ああいう自分になりたい」「自分たちでより良い行事を創り上げてみたい」と感じた生徒も少なくないはずだ。4月に入学した1年生たちが、初めて全校行事に取り組み、何を感じ、何を考えたのか聞いてみたい。体育祭をとおして、白梅の一員としての「目には見えない繋がり・一体感」、そうしたものを一人一人が味わってくれていたら嬉しく思う。(おわり)

(共学共高とは：本校のディプロマポリシー(育てたい生徒像)の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す)